

## 岩手県中体連剣道申し合わせ事項

### 1. 勝敗について

〔団体戦〕

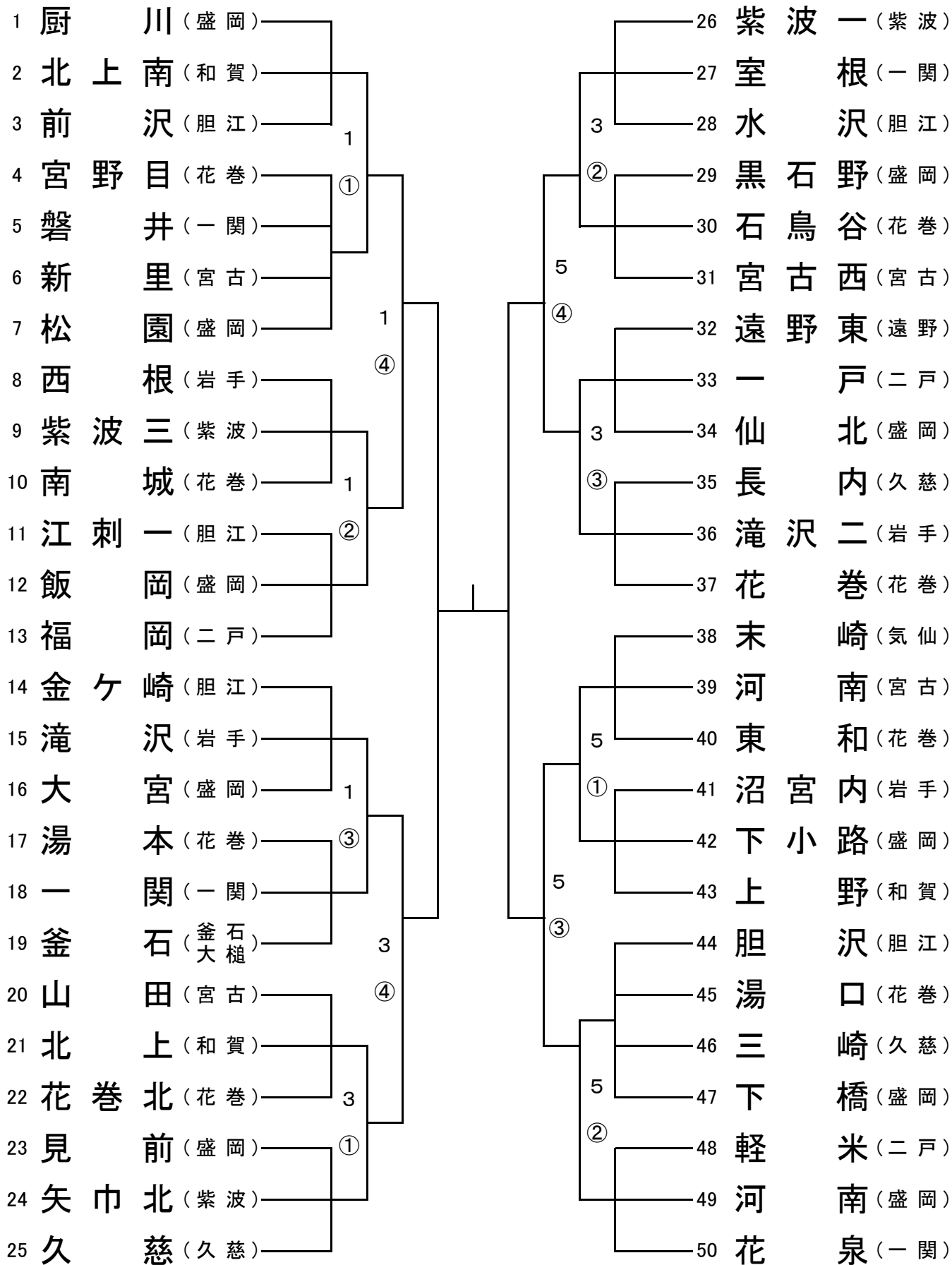
- ① 団体戦は3本勝負、時間3分とし、勝敗の決しない場合は引き分けとする。  
ただし、準決勝・決勝のみ2分間の延長1回を行う。
- ② リーグ戦は勝ちが1点、引き分けに0.5点を与える。
- ③ 順位の決定は、勝ち点、勝者数、取得本数に順による。
- ④ 代表者戦は1本勝負、時間3分とし、勝敗の決しない場合は2分の延長を勝敗の決するまで時間を区切って行う。（予選リーグの代表者戦はその試合場の同性の予選全て終了後おこなう。そのときのはじめと終わりの挨拶は、5人揃って礼をする。2校リーグの場合はその試合終了後ただちに行う。）

〔個人戦〕

- ① 個人戦は3本勝負、時間3分とし、勝敗の決しない場合は2分の延長を勝敗の決するまで時間を区切って行う。
2. 片手打ちは有効としない。突き技は公正を害する行為として反則とする。
  3. 上段は原則として取らせない。ただし、身体上の障害がある場合のみ協議の上認める場合もある。
  4. 女子の蹲踞は男子と同じとする。
  5. 試合場には監督、選手、補員以外は入らないこと。
  6. 選手控え席へのストップウォッチの持込み、サイン等による指示や試合者への声援などをしてはならない。(審判主任が指導を与える) 試合終了者の指導については、試合が終了後、試合場外(アリーナの外、廊下など)で指導するよう監督に促す。
  7. 不正竹刀を使用した場合、その使用者を負けとする。また、その後の同種目の試合を継続できない。リーグ戦の場合は、そのリーグ戦の不正竹刀の使用者の全ての試合を負けとし相手に2本を与える。そのリーグ戦後の試合においては、補員をあてることができる。不正な竹刀とは①「ビニールやセロテープを巻いた竹刀」②「異物を挿入した竹刀」(異物とは先革のゴム、柄頭のチギリ〈鉄片〉以外のものすべてをいう)③合印のついていない竹刀をいう。※検量を通った竹刀以外は、会場フロアに持ちこまないこと。
  8. 面紐は結び目より40cm以内、小手紐はきちんと結ばせる。
  9. 面紐・胴紐は赤色系の色は使用禁止とする。
  10. 竹刀の弦の色は、黄・白・紫のものを使用すること。
  11. つばを固定すること。つばは、革色(白、茶系統)のものを使用すること。
  12. 柄革は、滑り止め(ゴム等)模様等のないもので、白色とする。
  13. 面金を黒塗りにした面など、通常の配色でない面の使用を禁止する。
  14. 剣道具は確実に装着すること。不備な場合は指導する。また、お守り等は付けさせない。
  15. 剣道着、袴は紺または白を原則とする。(すその刺繍は禁止する)
  16. 面乳革は、大きさ、色、模様を含めて華美にならないように配慮し、色は黒色または紺色(無地)とする。(白色の剣道具の場合、白も認める)
  17. 紅白の目印は各校で準備する。
  18. 垂用名札は、黒か紺に白で学校名と姓を記入し、同姓の者がいる場合は、正面から見て右下部に名の頭文字を付けること。規定の名札を使用していない者は出場を認めない。
  19. 団体戦の整列は審判側に先鋒が並び、互いに9歩の間合を保ち、立礼をする。先鋒、次鋒には、面・籠手をつけさせ、竹刀をもたせる。終わりは大将を同様とする。次試合チームは、後列の畳に面・籠手・竹刀を置いたまま、現試合チームの終わりの立礼後、直ちに入れ替わって試合場に入り立礼し、戻ってから前列の畳に移動し着座する。又、先鋒戦は、監督が畳に着座してから開始する。
  20. 試合が連続する場合、個人戦、団体戦ともに3分以内の休憩を取ることができる。
  21. 上座に対する礼は最初と最後のみで、最初(第1試合)は正面に礼をさせ、次に互いに礼をさせる。なお、決勝戦については始めと終わりに正面に対して礼をさせる。
  22. 試合開始時は、最初の試合者が立会いの間合(9歩の間)に立ったとき、審判長は起立して笛で合図をする。選手が蹲踞後主審の宣告で試合を始める。

23. 試合合議のとき、競技者には立ったまま納刀をさせ、立礼の間合いまで下げて蹲踞で待たせる。
24. 選手交代等のパフォーマンスはしないこと。(拍手も不可)
25. 「変形な構え等の防御姿勢(三所隠し)」をとった場合は、1回目は「合議」のうえ「指導」、2回目以降は「合議」のうえ「反則」とする。(公正を害する行為)各選手への指導はそれぞれ1回のみとする。
26. 「変形な構え等の防御姿勢」に対する「指導」「反則」をとる場合、主審はその該当選手に対して左ひじを上げる動作とともに説明し、その後宣告する。ただし、「指導」の宣告は、5本の指を揃えて掌を内側にし、指導する選手の垂の方に指先を向けて行う。
27. 足袋、サポーター(剣道専用)とも皮底やゴム底は禁止。足袋、サポーター、テーピングの使用は監督会議で届出用紙をもらい、各試合場の会場主任に届出て許可を得ること。その後、会場主任は、オーダー表に印をつける。1度届け出れば、同種目での同じ届出は必要ない。(足の指程度はテーピングとしない。)
28. オーダーの変更は認めない。反則した場合はその選手を負けとする。選手の変更・棄権については、当日(1日目、2日目)監督会議で承認を得るか、自校立礼前までに競技委員長または本部に届ける。一度退いた者は再出場を認めない。
29. 監督の服装は、男女共に正装とし、靴下の色は紺色とする。腕時計は外すこと。又、選手と同じように監督席で礼をし、先鋒、大将の試合時には正座をすること。個人戦も同様とする。
30. 監督の変更は原則として認めない。
31. 男女同一監督の場合、団体戦は監督不在での試合は行わない。試合が重なった場合は、該当試合を待機させるか、試合を前後で入れ替えて進行することもある。同時に始まる場合は女子の試合を優先とする。個人戦の監督不在での試合は可とする。
32. 本大会において団体戦上位2校に、「内閣総理大臣杯授与 第34回若鷲旗剣道大会」への出場権を与える。

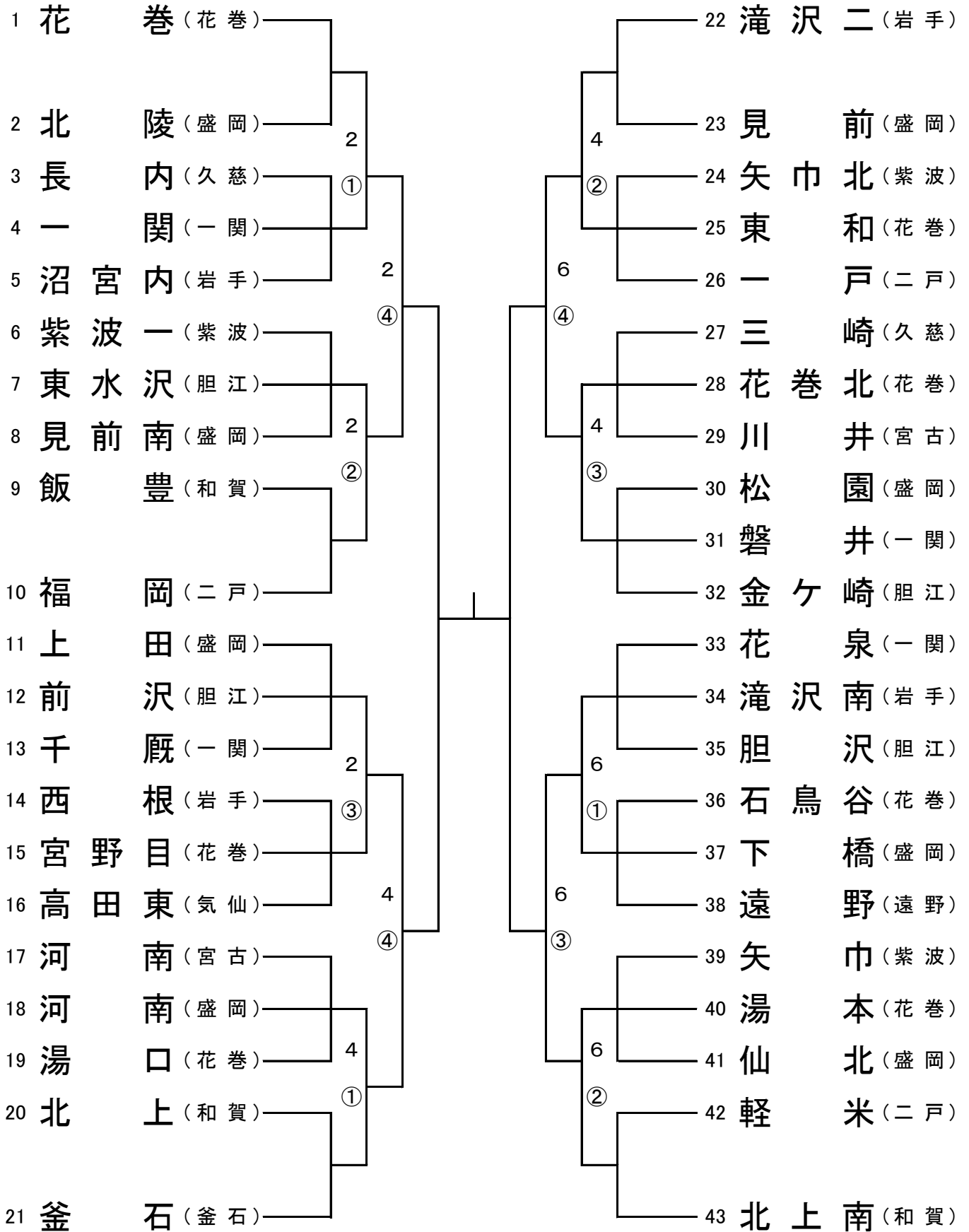
### 【男子団体】



1位 \_\_\_\_\_ (\_\_\_\_) 2位 \_\_\_\_\_ (\_\_\_\_) 3位 \_\_\_\_\_ (\_\_\_\_) 3位 \_\_\_\_\_ (\_\_\_\_)  
 [ 年振り 度目の優勝]

5位 \_\_\_\_\_ (\_\_\_\_) 5位 \_\_\_\_\_ (\_\_\_\_) 5位 \_\_\_\_\_ (\_\_\_\_) 5位 \_\_\_\_\_ (\_\_\_\_)

【女子団体】



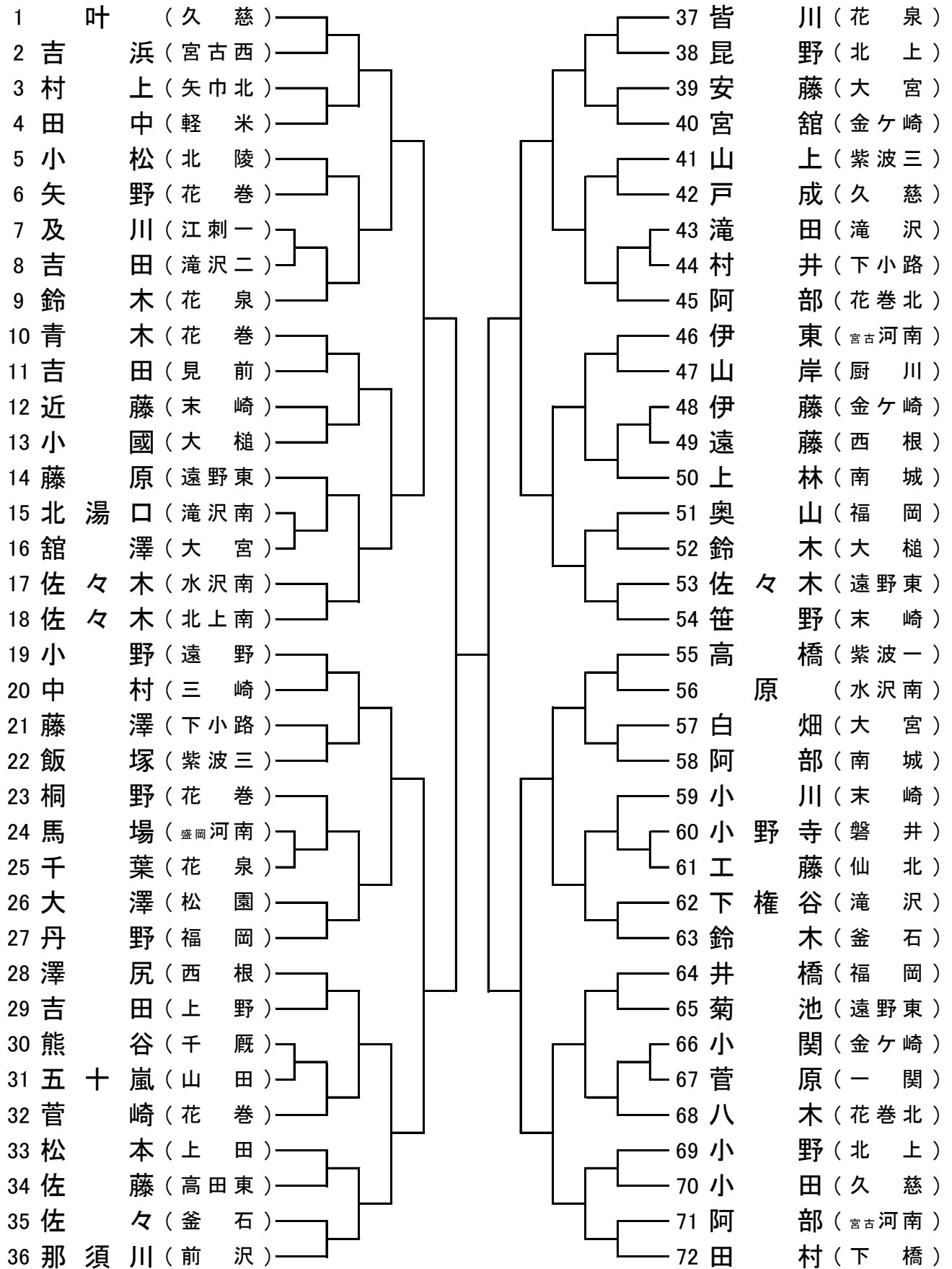
1位 \_\_\_\_\_ ( ) 2位 \_\_\_\_\_ ( ) 3位 \_\_\_\_\_ ( ) 3位 \_\_\_\_\_ ( )  
 [ 年振り 度目の優勝 ]

5位 \_\_\_\_\_ ( ) 5位 \_\_\_\_\_ ( ) 5位 \_\_\_\_\_ ( ) 5位 \_\_\_\_\_ ( )

# 【共通男子個人】

## 〈第1試合場〉

## 〈第3試合場〉

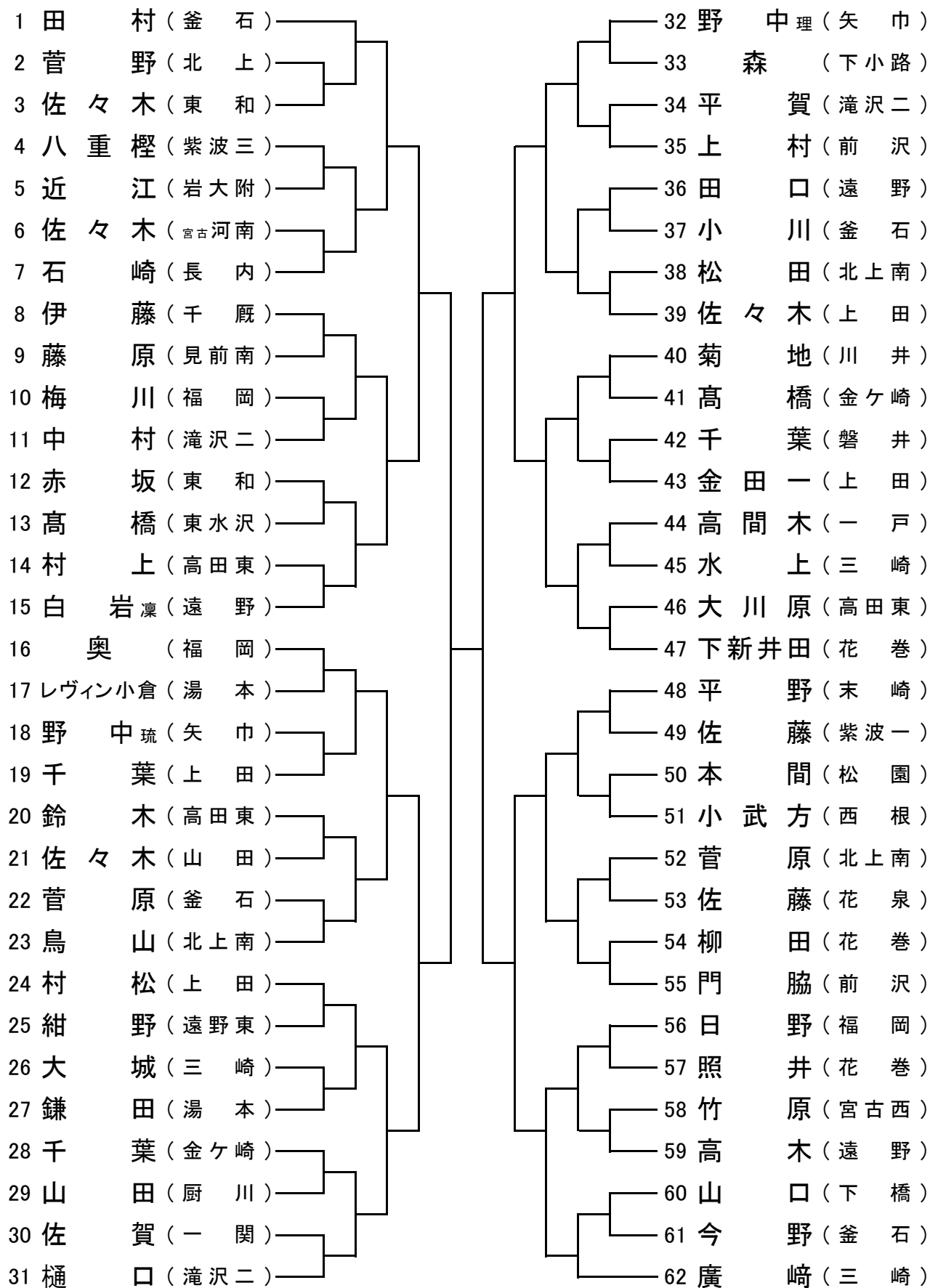


1位 ( ) 2位 ( ) 3位 ( ) 3位 ( )  
 5位 ( ) 5位 ( ) 5位 ( ) 5位 ( )

# 【共通女子個人】

## 〈第2試合場〉

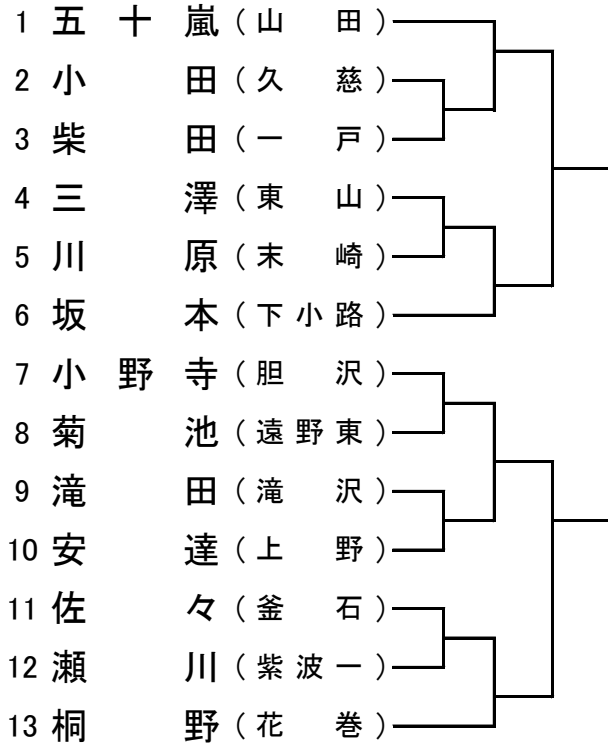
## 〈第4試合場〉



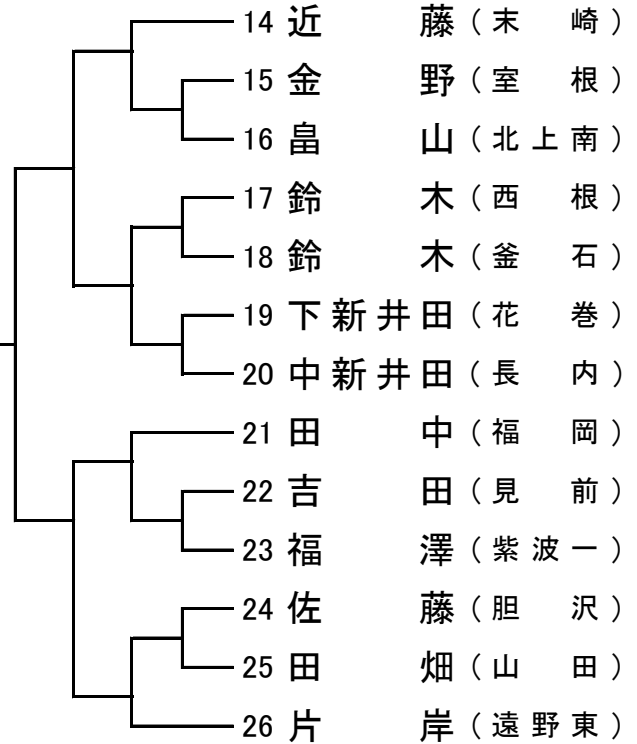
1位 \_\_\_\_\_ ( ) 2位 \_\_\_\_\_ ( ) 3位 \_\_\_\_\_ ( ) 3位 \_\_\_\_\_ ( )  
 5位 \_\_\_\_\_ ( ) 5位 \_\_\_\_\_ ( ) 5位 \_\_\_\_\_ ( ) 5位 \_\_\_\_\_ ( )

## 【1年生男子個人】

### 〈第1試合場〉



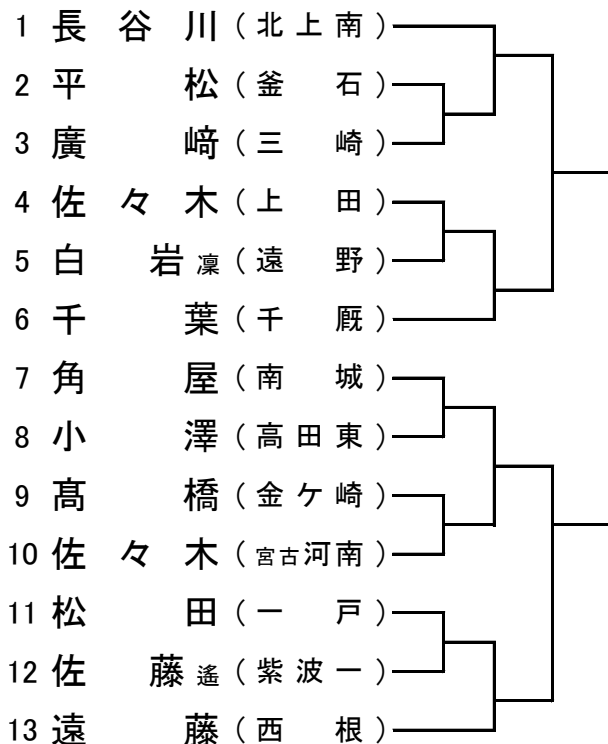
### 〈第3試合場〉



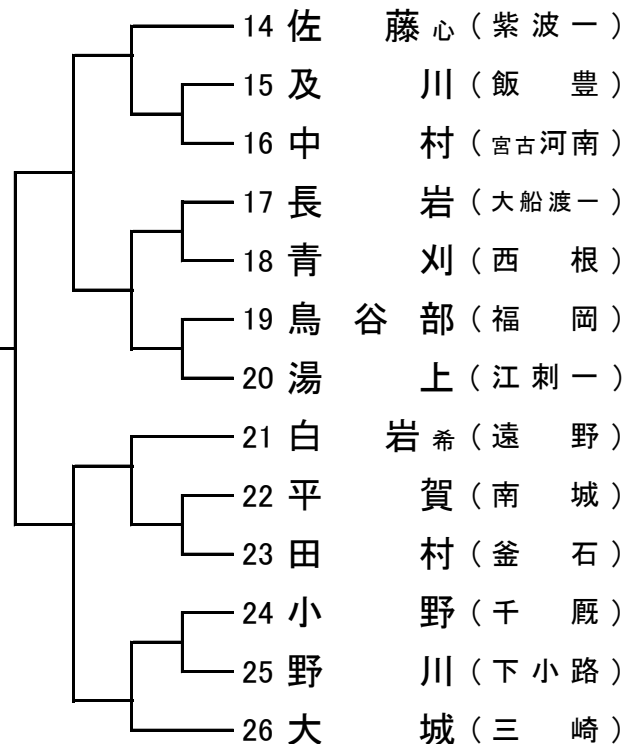
1位 \_\_\_\_\_ ( ) 2位 \_\_\_\_\_ ( ) 3位 \_\_\_\_\_ ( ) 3位 \_\_\_\_\_ ( )

## 【1年生女子個人】

### 〈第2試合場〉



### 〈第4試合場〉



1位 \_\_\_\_\_ ( ) 2位 \_\_\_\_\_ ( ) 3位 \_\_\_\_\_ ( ) 3位 \_\_\_\_\_ ( )